

応急仮設住宅にお住まいの皆さまへ

仙台市長 奥山 恵美子
(公 印 省 略)

応急仮設住宅の供与期間に関するお知らせと現況調査の実施について

日頃より本市の行政運営にご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、本市では、先般、宮城県が公表した『今後の応急仮設住宅の供与期間延長に関する「基本的な考え方」』（裏面参照）を踏まえ、被災時に仙台市にお住まいだった方の供与期間は5年をもって終了することを基本とし、再建先となる復興公営住宅に当選したが工期等の関係から5年の供与期間内に入居できない方など、特定の要件に該当する方のみ限定して延長する「特定延長」の導入を予定しております。

なお、被災時に仙台市外にお住まいだった方については、現在、下記のとおり宮城県と国との間で延長協議が行われておりますが、特定延長が導入される場合や5年で供与終了となる場合には、お住まいだった市町からその旨通知されることとなっております。

また、本市では、応急仮設住宅の供与終了に向けて皆さまの生活再建をさらに推し進めるため、住まいの再建に関するお考えを改めて確認させていただきたく、「応急仮設住宅入居者現況調査」を同封しておりますので、必ずご返送くださいますようお願いいたします。

記

1 供与6年目の延長に係る協議対象市町

(1) 一律延長の協議の対象となっている市町

石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、東松島市、女川町、南三陸町

(2) 特定延長の協議の対象となっている(特定の方を除き5年で供与終了となる)市町

仙台市、多賀城市、亘理町、山元町、七ヶ浜町

※5年で供与終了となる市 岩沼市、大崎市

※岩手県や福島県から避難されている方の供与6年目の延長については、被災時にお住まいだった市町村へお問い合わせください。

2 応急仮設住宅入居者現況調査

記入例を参考に、平成27年4月1日現在の状況で同居する全ての方を記入のうえ、返信用封筒により4月15日(水)までにご投函ください。

なお、複数住戸をご使用の世帯は、申込者の住戸にまとめてご記入ください。

3 特定延長に係る手続き

特定延長による6年目延長に該当する方については別に届出が必要となります。被災時に本市にお住まいだった方には、特定延長の手続きのご案内を4月上旬にお送りしますので、それまでお待ちください。

《問い合わせ先》

○応急仮設住宅の供与期間に関すること 復興事業局仮設住宅室(電話 022-214-5080)

○現況調査に関すること 復興事業局生活再建推進室(電話 022-214-8559)

今後の応急仮設住宅の供与期間延長に関する「基本的な考え方」

応急仮設住宅の供与期間の延長について、これまでの被災された方一律の延長に加え、災害公営住宅等の整備により被災された方々の需要に対応する住宅がおおむね充足する市町においては、特定の要件に該当する方を対象に供与を延長する「特定延長」の考え方を導入することとし、国と協議を進めることが宮城県より公表されました。

(供与期間延長にかかる基本的な考え方)

供与期間延長の必要性については、災害公営住宅や入居者自らが建築する住宅、一般の賃貸住宅など、被災された方々の需要に対応する恒久的な住宅が不足するか否かで判断されます。

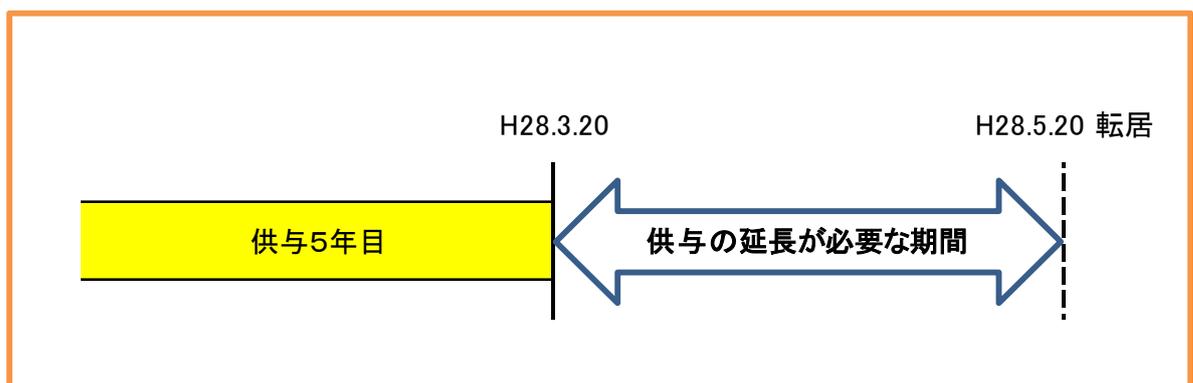
- 1 住宅が不足する状況が継続する市町に関しては、供与期間を一律延長します。
- 2 住宅がおおむね充足する市町に関しては、供与終了を基本とし、特定の要件に該当する方についてのみ、供与期間を延長します。（特定延長）

○特定延長により供与を延長する方の要件

- 1 災害公営住宅への入居や防災集団移転等、公共事業による自宅の再建先は決まっているが、工期等の関係から供与期間内に仮設住宅を退去できない方
- 2 公共事業以外で、自宅の再建（再建先・再建時期）は決まっているが、工期等の関係から供与期間内に仮設住宅を退去できない方

(特定の要件に該当する方の一例)

- 仮設住宅の供与5年目の終期が平成28年3月20日の方（平成23年3月21日に仮設住宅へ入居した方）で、災害公営住宅への転居が平成28年5月20日となる場合、5年の供与期間内では転居できないため、特定延長の対象者となります。



応急仮設住宅入居者現況調査

※平成27年4月1日現在の状況をご記入ください

回答期限：平成27年4月15日(水)

1 世帯の状況について

整理番号		封筒の宛名ラベル ←に記載の整理番号 をご記入ください	電話番号			
現在の住所	〒 -					
世帯主	ふりがな 氏名	性別	続柄	生年月日	年齢	入居時からの 状況の変化
		男・女	仮設住宅 申込者 (世帯主)	大正・昭和・平成 年 月 日	歳	最初から入居 ・ 途中から入居
同居者の 状況		男・女		大正・昭和・平成 年 月 日	歳	最初から入居 ・ 途中から入居
		男・女		大正・昭和・平成 年 月 日	歳	最初から入居 ・ 途中から入居
		男・女		大正・昭和・平成 年 月 日	歳	最初から入居 ・ 途中から入居
		男・女		大正・昭和・平成 年 月 日	歳	最初から入居 ・ 途中から入居

2 被災時にお住まいだった市町村等への情報提供について

仮設住宅の申込者(世帯主)が仙台市外で被災された方である場合のみご記入ください。

被災時にお住まいだった市町村名：
.....

仙台市外で被災された方々の生活再建支援のため、被災時にお住まいだった県及び市町村に本調査票の内容を情報提供する予定です。情報提供を希望されない場合のみチェック(☑)してください。

情報提供を希望しない

3 住まいの再建について

1) 住まいの再建先を 1つだけ選んで番号を○で囲み、転居を予定している時期をご記入ください。

再建先	1 仙台市内	3 未定	転居時期	平成	年	月	頃
	2 仙台市外(市町村名:)						

※裏面の「住まいの再建方法」についてもご記入ください



2) 住まいの再建方法を1～18の選択肢から1つだけ選んで番号を○で囲み、()内をご記入ください。

住宅の 建築や 購入、 修繕・ 建替え 等	現地 再建	《被災時に居住していた住宅の修繕・建替え》	
		1	修繕・建替えに着手又は完了している (完了(予定):平成 年 月)
		2	建築業者と契約予定である (契約予定:平成 年 月 / 具体の時期未定)
		《宅地復旧事業により復旧した宅地での住宅の修繕・建替え》	
	3	修繕・建替えに着手又は完了している (完了(予定):平成 年 月)	
	4	建築業者と契約予定である (契約予定:平成 年 月 / 具体の時期未定)	
	移転 再建	《防災集団移転先での住宅の建築》	
		5	建築業者と契約済みである (工事完了予定:平成 年 月)
6		建築業者と契約予定である (契約予定:平成 年 月 / 具体の時期未定)	
《被災時に居住していた場所以外での住宅の建築・購入》			
7	建築・購入に着手又は完了している (完了(予定):平成 年 月)		
8	建築・販売業者と契約予定である (契約予定:平成 年 月 / 具体の時期未定)		
災害(復興) 公営住宅	9	当選済みで手続中である (住宅名:)	
	10	仙台市外の市町村に建てられる災害(復興)公営住宅に応募中又は応募予定である	
賃貸 住宅等	民間	11	現在の借上げ賃貸住宅をご自身の名義で契約し住み続ける
		12	新たに賃貸住宅(アパート・マンション・借家など)を探し転居する
	公営	13	災害(復興)公営住宅以外の県・市・町・村営住宅に当選済みで手続中である (住宅名:)
		14	災害(復興)公営住宅以外の県・市・町・村営住宅に応募中又は応募予定である
	福祉	15	高齢者や障害者の方向けの住宅や各種福祉施設等への入居が決まっている
		16	高齢者や障害者の方向けの住宅や各種福祉施設等に応募中又は応募予定である
その他	17	親族宅や知人宅に転居する	
	18	その他 ()	
特記事項	再建内容が異なる同居者については、こちらに(書ききれない場合は「4 自由記載欄」)にご記入ください。 氏名: _____ 氏名: _____ 再建先市町村名: _____ 再建先市町村名: _____ 転居時期: _____ 転居時期: _____ 再建方法: _____ 再建方法: _____		

4 自由記載欄(生活上でご不安な点等がございましたら、ご記入ください)

調査へのご協力ありがとうございました。ご不明な点は、下記担当部署までお問合せ下さい。

⇒【担当】生活再建推進室(電話:022(214)8579/FAX:022(214)5130)

記入例

受付番号

応急仮設住宅入居者現況調査

※平成27年4月1日現在の状況をご記入ください

回答期限：平成27年4月15日(水)

1 世帯の状況について

整理番号	A1234	封筒の宛名ラベル ←に記載の整理番号 をご記入ください	電話番号	090-1234-5678	
現在の住所	〒980-0000 仙台市青葉区〇〇町〇丁目〇番〇〇号 〇〇アパート〇〇〇号				
世帯主	ふりがな 氏名	性別	続柄	仮設住宅の申込者(世帯主)から みた続柄をご記入ください。	からの 変化
	せんだい たろう 仙台 太郎	男	仮設住宅 申込者 (世帯主)		
同居者の 状況	せんだい はなこ 仙台 花子	男・女	妻	大正・昭和・平成 35年 3月 4日	55歳 最初から入居 途中から入居
	せんだい いちろう 仙台 一郎	男・女	長男	大正・昭和・平成 59年 4月 5日	30歳 最初から入居 途中から入居
	せんだい ゆきこ 仙台 雪子	男・女	長男の妻	大正・昭和・平成 元年 6月 7日	25歳 最初から入居 途中から入居
	せんだい つきこ 仙台 月子	男・女	母	大正・昭和・平成 13年 8月 9日	90歳 最初から入居 途中から入居
				大正・昭和・平成 年 月 日	最初から入居 途中から入居

被災時に仙台市外にお住まい
だった方が、仮設住宅の申込者で
ある場合のみご記入ください。

2 被災時にお住まいだった市町村等への情報提供について

仮設住宅の申込者(世帯主)が仙台市外で被災された方である場合のみご記入ください。

被災時にお住まいだった市町村名：	〇〇県〇〇町
仙台市外で被災された方々の生活再建支援のため、被災時にお住まいだった県及び市町村に本調査票の内容を情報提供する予定です。情報提供を希望されない場合のみチェック(☑)してください。	
<input type="checkbox"/> 情報提供を希望しない	

3 住まいの再建について

1) 住まいの再建先を1つだけ選んで番号を○で囲み、転居を予定している時期をご記入ください。

再建先	① 仙台市内	3 未定	転居時期	平成 27年 12月 頃
	2 仙台市外(市町村名：)			

※裏面の「住まいの再建方法」についてもご記入ください

2)住まいの再建方法を1～18の選択肢から1つだけ選んで番号を○で囲み、()内をご記入ください。

住宅の建築や購入、修繕・建替え等	現地再建	《被災時に居住していた住宅の修繕・建替え》	
		1	修繕・建替えに着手又は完了している (完了(予定):平成 年 月)
		2	建築業者と契約予定である (契約予定:平成 年 月 / 具体の時期未定)
		《宅地復旧事業により復旧した宅地での住宅の修繕・建替え》	
	移転再建	《防災集団移転先での住宅の建築》	
		3	修繕・建替えに着手又は完了している (完了(予定):平成 年 月)
		4	建築業者と契約予定である (契約予定:平成 年 月 / 具体の時期未定)
		《被災時に居住していた場所以外での住宅の建築・購入》	
災害(復興)公営住宅	5	建築業者と契約済みである (工事完了予定:平成 年 月)	
	6	建築業者と契約予定である (契約予定:平成 年 月 / 具体の時期未定)	
賃貸住宅等	民間	7	建築・購入に着手又は完了している (完了(予定):平成 年 月)
		8	建築・販売業者と契約予定である (契約予定:平成27年 5月 / 具体の時期未定)
	公営	9	当選済みで手続中である (住宅名:)
		10	仙台市外の市町村に建てられる災害(復興)公営住宅に応募中又は応募予定である
	福祉	11	現在の借上げ賃貸住宅をご自身の名義で契約し住み続ける
		12	新たに賃貸住宅(アパート・マンション等)を借り転居する
その他	13	災害(復興)公営住宅以外の県・市・町・村に転居する	
	14	災害(復興)公営住宅以外の県・市・町・村に転居する	
特記事項	15	高齢者や障害者の方向けの住宅や各種福祉施設等への入居が決まっている	
	16	高齢者や障害者の方向けの住宅や各種福祉施設等に応募中又は応募予定である	
		17	親族宅や知人宅に転居する
		18	その他 ()
再建内容が異なる同居者については、こちらに()		氏名: 仙台 一郎, 雪子 再建先市町村名: 〇〇県〇〇市 転居時期: 平成27年10月 再建方法: アパートに転居予定	

番号: 2・4・6・8

契約予定時期が未定の場合は「具体の時期未定」を○で囲んでください。

番号: 11

「11」を選ぶ場合、表面の3-1)「転居時期」については、ご自身で改めて契約を結ぶ時期をご記入ください。

番号: 15・16

サービス付の高齢者向け住宅や各種老人ホーム、グループホーム、ケアハウス、その他の福祉施設については、こちらを選んでください。

再建方法: _____

4 自由記載欄(生活上でご不安な点等がございましたら、ご記入ください)

母(月子)について介護サービスの利用を検討しているので、相談先の機関を教えてください。

調査へのご協力ありがとうございました。ご不明な点は、下記担当部署までお問合せ下さい。

⇒【担当】生活再建推進室(電話: 022(214)8579/FAX: 022(214)5130)